

發せず、藏つて置いたからである。併し乍ら現在は皇軍占領下に於て着々と開發せられつゝある、北ボルネオ派遣軍〇〇部隊長は、ボルネオの交通問題は、地圖で見れば何處にも交通が出来るやうであるが、平地でも山でも原始そのままで道路といふ道路がない。クチンについて云ふと、その周圍に道があるだけで、同じく、シマンガン・シブにしても、ピンツル・クチン・ジエセルトレ、サンダカン・タワオなどの街もその街のぐるりに道が開けてゐるだけである。タワオとサンダカンは廣い海をもつて居るが、陸上の交通は全く皆無である。ボルネオの交通は殆んど船である。我軍が占領し軍政を施行して以來は船以外に飛行

機をもつてする交通に力を注いで、各地地上施設を進めてゐるわけである。だから今日の交通は以前から見ると距離は頗る短縮されてゐる。と述べてゐるが、このボルネオの如きは、世界屈指の大きな島であるに拘らず陸上交通、道路の如きは全くこれからの開設に俟たねばならないところも南方にはある。故に一概に南方の道路は整備完全であるとは云へ、まだ、ボルネオ等に於て建設開發が進みこの未開の寶庫を開くには、我國の道路技術員の努力と優秀なる技術が益々必要となるのである。茲に最近の南方道路狀況の大略を窺ふことが出来るやうに思はれる。

静岡縣に於ける道路愛護運動 (二)

左右田 友三郎

被表彰團體其他事績

町村團體ノ部

賀茂郡三坂村道路愛護會

本會は村民一戸一人制を以て組織し會員三百餘人を擁し、昭和

十一年十一月結成、年二回全村道路愛護日の外、年四回各部落に於ける定期的作業日を定め全村道路七千六百五十米を區域とし、之を作業統制上五部十班の集團作業部班に編成せり。本村は古來の慣行による道路修理の美風を一段と發揮し、道路愛護思想の普

及徹底を圖れり。作業實施に際しては路面の修理は勿論、路肩整理、崩土の除去、側溝溝、除草作業に到る迄終始熱烈なる意氣を以て従事し、殊に昭和十五、十六年は降雨多く出水の爲、山間部落道路の常として隨所に崩土缺潰あり。之れが除去修理には多大の勞力を要するも全會員出動全幅の努力を傾注し、一般交通機關の保全を期せり。尙本會作業の外各種團體にありては其都度右作業に協力する外出出征兵送迎其他集會等を利用し、臨時作業に努むる等舉村一致の純眞なる良俗は他の模範とする處にして、實績顯著なるものあり、眞に推奨するに足る。

田方郡上狩野村道路愛護團

本會は昭和十二年七月結成し、村住民一人制による機構にして會員現在五百九十三人を擁し、會長に同村長を推し、副會長に助役、評議員に村會議員（土木委員）部長に各區長を充て班長に各區長代理者を委嘱せるものにして、同村を貫通せる府縣道靜岡縣下田線外三線延長一萬七千八百八十米、町村道三十五線、延長五萬三千八百六十六米を全作業區域とし、毎年六月八月年二回の一齊的作業日を設け、事業遂行上十二班に編成、會長指揮の下に全く舉村一致の姿を發揮し、作業に際しては舊來の傳統的這普請の美風を倍々維持保全に全幅を傾注する等、殊に大資源を抱擁せる天城峠を越え下田港に通ずる唯一の路線にして、山間部道路の常として自然坂路程尚多く、崩土及崩落石の取除、路面修理、雜草刈取、

枝拂等、平坦部作業に比し種々の工作を要するも、専ら愛郷の至情を以て全員終始維持愛護に不斷の努力を盡し、殊に非常災害時



會 護 愛 路 道 村 野 狩 上 郡 方 田
實 業 作 除 取 崩 土 復 害 災

に際しては警防團と協力し、應急措置等適切なるものあり、現に昭和十六年度に在りては作業二回災害時二回此の延人員一千百十

二人に達し其の業績顯著なるものあり、既に表彰さるゝ事三回、眞に他の模範とするに足る。

駿東郡靜浦村道路愛護會

本會は同村警防團、在郷軍人分會、男女青年團、婦人會、岳陽少年團等を糾合渾然一體となり昭和十二年八月結成會長に村長を推戴し、副會長に少年少女團長たる同村國民學校長、評議員には村會議員並各團體長、幹部に同村土木主任及各團體役員部に各區長、班長には各團體分團長等現職に在るものを夫々委嘱し、會員二〇九九人を擁せる團體にして、村内を縦貫せる府縣道土肥沿津線延長七千五百七十二米、西北は沼津市に接し御用邸を控へ東南部沿線に靜浦灣を抱き伊豆溫泉郷に通ずる樞要地域にして、作業上之を大部の部班に編成、毎半二回の一齊作業を行ひ、更に本會員たる少年團員は副會長たる學校長指揮の下に校外教育の見地より精神陶冶の實踐として毎月一日、十五日及毎日曜日を常設的作業と定め、何れも晴天作業として實施計畫を樹立し、爾來本運動は全く青少年團の壓倒的團結を以て邁進し、吾等の道路を目標に職員舉つて指揮監督に當り道路の整理、路面清掃修理、側溝浚渫等の作業に精進し、尙夏季休暇中晝間二回の撒水作業を斷行する等、現に昭和十六年度に在りては作業回數六十二回、作業參加人員六萬五千四百三十八人に及び其の熱意の溢るゝものあり。由來同村民は道路に關する觀念に乏しく道路敷地の占用又は破損する

等の事例多く敢て之を顧るの風なく、村當局は之れが矯正に當り常に苦慮せる所なりき、然るに愛護運動に依り道路の状態は著しく淨化し良好なる路型を保持し其の面目を一新せしむるに到れる等、交通上裨益する所あるは勿論精神作興に寄與する所亦尠からざるものあり、既に前後四回に互り引續き表彰せらるゝ等其の實績顯著にして他の模範となすに足る。

富士郡元吉原村道路愛護會

本會は青年團、處女會、少年團三位一體の機構にして昭和十一年明治節を下して結成、會員一千三百七十名を擁し會長に少年團長たる同村國民學校長を推し、役員は總て各團幹部を充て統制連絡を圖り、村内を縱横に貫通せる國府縣道及町村道主要路線延長五千七百九十六米の區間を作業統制上之れを三部班に編成、毎月第一日曜日を一齊的作業日とし、少年團、處女會に於ては毎月第二週以後各土曜日を定期的作業日に設定、何れも晴天作業とし實施せるものにして會長總指揮の下に全校職員協力一致指揮監督に當り眞摯なる勤行を以て道路愛護に精進せり。抑も本會は大正十四年十一月少年團結成以來校外共同社會生活訓練、勤勞精神涵養の目的を以て奉仕事業の一樣相として毎週一回神社及道路の清掃を實行し來りたるものにして、偶々縣の道路愛護に關する諭告發布せるや奮然蹶起し、更に本事業の強化徹底を期し青少年團を一體となし、郷土建設の基礎として其の動かざる根幹に確固たる計

畫を樹立し、村當局に諮り率先道路愛護會を創設したるものにして同郡下に於ける結成團體に魁せり。然るに本村は附近一帯工場地にして交通量極めて多く、殊に近時加速度的交通量の激増に對應し道路の維持保全の萬全を圖らんには不斷の努力と多大の勞力を捧ぐるに非ざれば完璧期し期きを痛感し、全員の總協力總努力に依り萬難を排して定期作業の遂行と效果の増大に努め、東亞建設の牢固たる決意を堅持し作業に際しては統後青少年の發洩たる意氣を以て一段と熾烈を加へ容姿を整へ、黙々として終始し之を通し民力の助長産業の伸展に寄與する所あり、現に昭和十六年度に於て實施回数五十三回作業、參加人員三萬七千八百五十五人に及びり。此の熱誠なる作業は一般村民並行人をして均しく感謝の的となり、地元民に在りては健氣なる青少年の勤行を座視するに忍びず自ら作業を助勢する者逐次多きを加へ、且つ道路を汚損して顧みざるが如き弊風は斷然其の跡を絶つに至り、一般社會教化に貢獻する所頗る大なるものあり、茲に前後六回に及び其の實績を頌せらるゝ等道路愛護の先驅團體として其の面目を遺憾なく發揮し、眞に臣道實踐の實を擧げたりと謂ふべし。

駿東郡金岡村道路愛護會

本會は沼津土木出張所管内四十八ヶ市町村に魁け昭和十一年十一月率先結成せる團體にして、村住民一戸一人制の青少年團參加せしめ會員一千九十七名を擁し、農村開發は道路に在るを標的に

舉村一致牢固たる決意を堅持し、道路の整備に精進せるものにして之が作業は年二期を村民一齊作業日とし、更に毎月一日を少年團、十五日を青年團に充て實施し來りたるも、青少年部に在りては毎月八日の大詔奉戴日を以て作業奉公日と改め實施せるものにして之等作業區域は村内を縱横に貫通せる府縣道吉永三島線三、八一五米、町村道一六一、六四〇米の長區間とし、何れも富士山麓地帯に屬せる土質良好ならざる道路なるも會員の不斷の努力に依り常に良好なる状態にある等其の實績顯著なり、現に昭和十六年度に於ける作業回数十二回、作業參加延人員三千二百一人に達し、逐年實績の昂揚に努め交通上裨益する所尠からず、昭和十四年度以來引續き其の業績を頌せらるゝ等以て範とする所多し。

安倍郡大川村道路愛護會

本會は昭和十三年五月結成、警防團員及國民學校兒童、青年學校生徒を以て組織し、團體統制上會長に同村長副會長に助役を推し、評議員幹事は會員中より互選し、村内を通ずる府縣道大川用宗停車場線八、二〇〇米、町村道全線を作業區域とし、毎年二回の定期的一齊作業日を設定の外常に道路保護に努め、隨時作業を爲すものにして會長自ら率先範を垂れ、熱誠なる指導統率の下に團體的精神を堅持し路面の修理、雜草の芟取、崩土取除、殊に橋梁修理の如きは會長自ら資材を提供し、之れが作業は終始し、毎年相當なる實績を擧げつゝあり、殊に府縣道たる本路線は産業開發

上唯一の道路なるも山間部に屬し、幅員狹隘且屈曲部多く、車馬の交通不能にして時局下公用材等の供出意の如くならず、且つ地方物資の輸送上不便尠からざるを痛感し、局部的改良を企圖し、工費金一萬有餘圓努力奉仕、四百八十人を以て隣接清澤村地内より約十四軒に亙り局部改良箇所七ヶ所、待避所三十一ヶ所、災害復舊箇所四ヶ所、橋梁架換二橋を完全に竣功する等、和衷協力以て克く勤勞奉仕の實を上げ、殊に災害時に於ける應急措置等適切なるものある等交通上客與する所多く、現に維持修理作業に在りては學校團體を除き作業回數十三回、作業參加人員一千百三十三人に及び本運動に貢獻する所尠からず、常に保全に努め交通上客與する所甚大にして、戦時下道路報國に實踐し、其の實績顯著にして眞に推奨するに足る。

庵原郡兩河内村道路愛護會

本會は村住民一戸一人制を以て組織し、昭和十二年七月結成せるものにして、嘗て本村には高山區民を以て成る道路愛護補修會成立し、和親協力嚴肅なる統制下に團體的行動を以て専ら區内道路の維持保全に精進し顯著なる業績を擧げ社會に貢獻の所あり。偶々縣の道路愛護に關する諭告發布せらるゝや既に斯くの如き團體の存在に端を發し逸早く創設を見るに至りたるものなり。而して本會の機構は會員九百五十三人を擁し、會長に村長、副會長に助役、評議員に村會議員、部長に各區部落會長班長に各隣保班長を

充て村内を通ずる府縣道茂野島清水線外二線、延長二萬九千七百七十八米の外重要町村道全線を作業區域とし、之を十三部班に編成毎年二回、各部一齊的作業の計畫の下に農村開發は「先づ道路」を目標に邁進し作業に際しては、舊來の慣行による道普請の傳統的美風を其の儘尊重し實施するに在り、又農閑期を利用し各部隨時實施するにあり、其の作業の多くは山間部道路の常として崩土取除、側溝の浚渫、暗渠、棧道の修理、枝拂、雜草刈取、砂利採取、運搬敷均等を行ふものにして各自辨當持參を確守し、愛郷の至情も厚く終日作業に終始し、亦風水害に依る災害箇所は最寄會員の申合により即時小破を修理復舊する等、現に昭和十六年度に在りては出動人員一千百十三人に達せり、斯く常に不斷の努力を以て精進し維持保全に完璧を期する等、實績顯著なるものあり、眞に推奨するに足るものなり。

榛原郡五和村道路愛護會

本會は昭和十二年二月十日同村居住者一戸一人制を主體とし、會長に村長を推し、各種團體員一千名を以て組織す。本村を横斷せる府縣道東川根金谷線延長一三、五〇〇米、町村道一三、五一三米を作業區域とし、年二回（三月、十月）一齊作業を執行するものとし、作業統制上各大字を以て部とし、十戸組を以て班とし作業區を編成す主として府縣道の維持修理の作業を實施し、昭和十六年度に於ける出役人員一千名に及び作業に際しては會長總指

揮の下に各部班共道路愛護規程を遵守し、崩土の取除側溝法肩、路面の凸凹等の修理に努め協力一致銃後の守りも、愈々牢固たる決意を堅持し勤勞奉仕の實を擧げ交通上裨益する所尠なからず、大東亞戰爭下に於て集團的共同勞作の美風を啓發する等、道路愛護團體として其の面目を發揮するは眞の模範團體として推賞するものなり。

志大郡藤枝町道路愛護會

本會は町内に居住せる世帯主を以て道路愛護に關する諭告發布に基き、昭和十五年七月十九日團體員二、二一〇人、會長に町長を推し組織結成せり。全員と統制連絡を圖り、町内を貫通せる國道一號線、府縣道四線、總延長六、四五一米の區間を作業區域とし、作業統制能率増進上各區毎に編成し、年二回三月十五日、九月十五日を定例一齊作業日とし施行す。實施に當りては會長役員の總指揮の下に全員協力一致眞摯なる行動を以て道路愛護思想の普及徹底に努め、路面修理、側溝浚渫、除草、肩切作業等郷土文化向上精神に燃え徹底的作業に終始する等、現に昭和十六年度に於ける實績に徴するに出役延人員一、一六五人に達し、現下勞力不足の折柄銃後國民の自分を遺憾なく發揮し、郷土建設に邁進し近時道路の狀態を一刷新するに至り、其の業績顯著にして倍々本運動の強化徹底を期する計畫ある等他の範とする所なり。

藤原郡下川根村道路愛護會

本會は昭和十二年一月同村住民一戸一人制を以て組織結成し、會長に村長、副會長に助役、評議員に村會議員土木委員、部長に各部落會長、班長に各隣組長、幹事に土木主任の職に在る者を充て年一回の一齊道路愛護デーの外、年三回各部落に於ける定期作業日を設け、村内を縱横に貫通せる全線道路五萬九千米を作業統制上各部落毎に編成せり。本村は古來より道普請として年二回は必ず作業をなし來れり。昭和十二年本會結成するや道路愛護作業の美風を一段と發揮したり。作業實施に當りては一戸一人制なるも特に各種團體が自發的に「産業開發は道路から」の聲を擧げ渾然一體となり、路面、路肩の修理、側溝の浚渫、雜草刈取、砂利引均し作業に熱烈なる意氣を以て精進し、銃後國民の赤誠を遺憾なく發揮し、増産目標に郷民一致團結の親和的風景は麗しく克く其の使命達成に邁進し、近時道路の面目を革むるに到り實績極めて顯著なるものにして推奨に足るものなり。

